

第30回発達診断セミナー 〈心理専門職コース〉

主催 人間発達研究所
後援 滋賀県（依頼中）
大津市（依頼中）

発達診断セミナーは、心理専門職が発達診断・発達相談や関連する諸科学について系統的に学ぶセミナーです。今回の第IVシリーズでは、発達診断が、子どもや障害のある人たちの発達や教育にどのように寄与していけばいいのかを学ぶことに合わせ、厳しさを増す情勢の中で、心理職として果たすべき役割について考える機会になることを願い、企画をしました。

今回のセミナーでは、5歳半頃の時期（3次元形成期）の特徴をおさえつつ、「だんだん～になる」という認識を獲得し、自己認識を深め、集団の中で自分の力を発揮するこの時期の発達について、支援学校での実践報告もふまえて深めていければと考えています。この時期は発達の面的には系列的な認識や概念形成など就学への基礎的な力が芽生える頃です。また9、10歳の節目とも大きく関わるという意味で重要な時期です。就学前教育や支援学校における教育の意味を考える際にも、この時期の子どもの発達や集団を学ぶ事には大きな意味があると思います。

発達診断・発達相談に携わるみなさんのご参加をお待ちしています。

テーマ 5、6歳頃の発達と障害

対象 発達診断・発達相談に携わる専門職

日程 2017年11月3日（金）・4日（土）

会場 財団法人 滋賀県人権センター「光荘」

大津市におの浜4丁目1-14（電話077-522-8243）

参加費 人間発達研究所会員 10,000円

会員以外 12,000円

（資料代を含みます）

定員 100人

申込み 専用申込用紙にて。インターネットの申込受付サイトもあります。

締切り 10月26日（木）消印有効

問い合わせ 人間発達研究所

〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘1-4-39 梅田ビル3階

TEL/FAX 077-524-9387 E-mail j-ih63su@j-ihd.com

URL <http://www.j-ihd.com/>

日程

11月3日（金）

9:30 受付開始

10:00 開会

**ゼミⅠ 時間的・空間的・価値的に3次元の世界を形成し、多面的に自己を捉えて
いく時期の発達と発達診断**

白石恵理子（滋賀大学教育学部教授）

12:30

昼食休憩

13:30

**ゼミⅡ 子どもたちをつなぎ、導くもの
～特別支援学校中学部の実践から～**

石田 誠（京都府立与謝の海支援学校中学部教諭）

16:00

休憩

16:15

ゼミⅢ 現在の障害児者を取り巻く法律や政策について

田村和宏（立命館大学産業社会学部准教授）

18:15

18:45～交流会

11月4日（土）

10:00

**ゼミⅣ 子どもたちはどのように未来を想定しようとしているのか
～未来へのメンタル・タイムトラベルの研究より～**

吉田真理子（三重大学教育学部准教授）

12:00

昼食休憩

13:00

ゼミⅤ 発達相談のこれから ～これまでを振りふりかえりつつ～

中村隆一（立命館大学応用人間科学研究科教授）

15:30 閉会

※講義の録音，撮影は固くお断りいたします。

講義内容

ゼミⅠ 時間的・空間的・価値的に3次元の世界を形成し、多面的に自己を捉えていく時期の発達と

発達診断

このゼミでは、3次元形成期（5，6歳頃）の発達と診断について白石氏に報告していただきます。この時期、子どもたちは、時間的・空間的・価値的に3次元を形成して行きます。また、同時に9，10歳頃の生後第3の新しい発達の原動力が生まれる時期でもあります。そのような中で、子どもたちは、どのようにだんだん変わりゆく「自分」に気づき、外界との関わりの中で多面的に自己を捉えて行くのでしょうか。その過程について発達的特徴を踏まえながらお話ししていただきます。さらに、この時期に困難を抱える子どもたちの支援や指導のポイントも提起していただきます。

ゼミⅡ 子どもたちをつなぎ、導くもの ～特別支援学校中学部の実践から～

このゼミでは、3次元形成期（5，6歳頃）の子どもたちの教育実践を石田氏よりお話しいただきます。子どもたちの「貧困」の問題、「新自由主義的」自立観の浸透など、子どもや学校を取り巻く状況は変化してきています。そのような流れの中での職業検定の導入など、特別支援学校の状況もまた変わってきています。思春期にあたる中学部での、この発達段階の教育実践において大切なこと、そして、仲間がいる、授業がある、行事がある、「学校」でできることとは何でしょうか。特別支援学校の中学部の教育の中で発達を保障していく実践について、個と集団の育ちに触れながらその中身を紹介していただくとともに、授業づくりの面白さや難しさ、また実践を進めるための教職員集団のあり方について、報告していただきます。

ゼミⅢ 現在の障害児者を取り巻く法律や政策について

近年、障害児者を取り巻く法律や政策は大きく変化しています。私たちは相談をすすめていながら、障害児者やその家族が生活していく上で、どのような制度が必要であるかを考え、発信していく必要があります。このゼミでは、田村氏よりそうした障害児者を取り巻く法律や政策について概論的に話していただきます。現在の障害施策や法律には当事者とその家族、支援者のどのような思いが反映されているのか、これからの課題はどこにあるのかを考えられればと考えています。

交流会（事前にお申し込みください）

毎年、講師の先生方や参加者の皆さんが参加され、事務局（関西在住の悩める若手相談員の集合体）も混ざって、仕事のことや発達・療育・保育・教育の事などをわいわい交流する、とても気さくな会です。若手・ベテラン問わず、是非お気軽にご参加ください！

ゼミⅣ 子どもたちはどのように未来を想定しようとしているのか

～未来へのメンタル・タイムトラベルの研究より～

5，6歳頃になると、子どもたちは時間軸の上にも「きのう・きょう・あした」というように3次元を形成して行きます。このゼミでは、自己の視点を過去の時点に移して過去の出来事を追体験したり、未来の時点に移して未来の出来事を事前に体験したりする時間的認識（メンタル・タイムトラベル）を研究しておられる吉田氏より、子どもたちがどのように未来の出来事を想定して現在の行動を変容させるのか、研究内容を通してお話ししていただきます。この時期に大切にしたい遊びや経験の中に子どもたちのこのような時間的認識の捉えがどのように関わっているのでしょうか。保育や発達診断の実践に活かせる点も学んでいきたいと思えます。

ゼミⅤ 発達相談のこれから ～これまでを振りふりかえりつつ～

このゼミでは、「発達相談のこれから」をテーマに学びます。日々、相談者の願いや支援者の思いに寄り添って相談活動をしたいと思っても、めまぐるしく変化する状況の変化にのみ込まれ、不安や疑問を抱きつつ振り回されてしまうこともしばしばです。そして、理想と現実のギャップの中で「発達相談の役割って何なのだろう」と思い悩むことはありませんか。そんな時に“発達相談員として大切にしたいこと”に立ち返る原点をあらためてさぐってみたいと思っています。

「色々あるけど、やっぱり相談活動っていいな」と明日からのエネルギーになる時間になればと思います。

●申込方法

- (1) 申し込みは専用申込用紙（払込取扱票）を用い、必ず一人1枚ご使用下さい。
- (2) 必要事項をご記入の上、受講料を郵便局から払い込んで下さい。交流会の参加、不参加のご記入もお願いします。現金書留での送付や、申込用紙を利用しての会費の払い込みはご遠慮下さい。
- (3) インターネットからも申し込めます。人間発達研究所のホームページをご覧ください。
- (4) 申込み締切りは10月26日（木）消印有効です。ただし定員になり次第締め切りますので、特に出張で参加される方はゆとりを持ってお申し込みください。
- (5) 申込み手続きが完了しますと「受付番号」をお知らせします。受付番号は当日の受付に必要です。メールアドレスをご記入の方には、メールでお送りします。
- (6) 宿泊は斡旋いたしませんので、各自でお取りください。
- (7) 昼食は各自ご用意ください。ゴミの持ち帰りにご協力下さい。会場の近隣に飲食店もあります。ご利用の場合は余裕を持ってお出かけください。

●キャンセル

郵送、FAX、メールで人間発達研究所までご連絡ください。キャンセル受付の返信をお送りしますので、必ずご確認ください。

10月25日（水）まで 全額をお返しします。

10月26日（木）以降 申し訳ありませんが返金できません。

●交通のご案内

- ・ JR琵琶湖線「大津駅」より路線バス「湖岸経由<石山駅>」行または「近江大橋経由<草津西口>」行乗車、「馬場1丁目」下車（230円）。「くら寿司」を左折。緑色の建物。バス停より徒歩約3分。
- ・ JR琵琶湖線「膳所駅」よりは徒歩約15分（新快速は止まりません）。
- ・ 駐車場の確保が難しいため、お車でのお越しはご遠慮ください。

